

平成27年度

熊本大学理学部同窓会報

印刷・発行 平成28年9月

熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

熊本大学 理学部同窓会

印刷 小野高速印刷(株)

会報発行に当たって－同窓会会長活動

熊本大学に理学部が設置されて67年、理学部同窓会が発足して57年もの歳月が流れ、理学部同窓会も着実に歴史を積み重ねて参りました。同窓生の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成27年度は国立大学法人第三期学長に原田信志先生（医学部昭和50年卒）が就任し、また、日本では二人の科学者がノーベル賞を受賞するなど、大変喜ばしい出来事がありました。

さて、理学部同窓会会長としての活動は平成27年4月4日（土）の入学式（理学部入学者193名）に始まり、平成28年3月25日（金）の卒業式（理学士184名、修士（理学）79名、博士（理学）3名）でほぼ終了しました。この間、5月30日（土）に第6回熊本大学東京連合同窓会（東京ガーデンパレス）が催され、理学部同窓会関東支部がお世話いたしました。今村遼平 東京連合同窓会会長（昭和38年卒）の挨拶、原田信志学長による基調講演「熊本大学の将来展望」に続いて、大学院自然科学研究科理学専攻教授の戸田 敬 先生（分析化学）（昭和58年卒）による特別講演「熊本の大気・世界の空気をみる」では熊本大学を包む「空気」を知り、地球を取り巻く「大気」の一端を理解することができました。関東地区理学部同窓生30名の出席があり、各同窓生の懇親と同窓会連合としての連帯を深めました。6月17日（水）には理学部同窓会幹事会（自然科学研究科会議室）を開き、年度活動計画や問題点の洗い出し、理学部同窓会名簿第27号発行に向けての話し合いを行いました。10月3日（土）には第2回熊本大学九州連合同窓会（ホテルセントラーザ博多）が開催され、安田宏正 九州連合同窓会会長（法文学部昭和42年卒）の挨拶、原田信志学長による基調講演「熊本大学の成長戦略～地域に根ざし、世界へ羽ばたく熊本大学～」に続いて、トヨタ自動車九州株式会社の杉山新治 氏（工

学部昭和49年卒）による「レクサス品質を支える人・モノ・技術」という特別講演があり、人のつながりがいかに重要かを再認識させられました。その後の懇親会では九州地区理学部同窓生11名の参加があり、親交と連帯を深めました。10月31日（土）には平成27年度熊本大学卒業生表彰式に続いてホームカミングデーが挙行されました。理学部からは紙谷正夫 先生（熊本大学名誉教授、昭和31年卒）が卒業生表彰を受けられました。紙谷先生の長年に渡る物理学を通じた教育・研究、熊本大学当時の管理・運営並びに理学部同窓会活動の功績が認められ、今回の栄えある授賞となりました。さらに、11月1日（日）には熊薬創立130周年記念・同窓会設立95周年記念熊本大学薬学部大同窓会（熊本ニュースカイホテル）に招かれ、理学部同窓会会長として駆虫薬イベルメクチンの話も含めて挨拶させていただきました。年が明けて3月2日（水）には熊本大学同窓会連合会幹事会で連合同窓会の運営や卒業生表彰の推薦基準等の見直しを代表幹事として取りまとめ、3月29日（火）の熊本大学同窓会連合会臨時総会で決定させていただきました。

平成27年度の活動を振り返り、新たに理学部同窓会に加わりました理学士並びに大学院修了者266名の新人同窓生をどうぞ温かく迎え入れていただきますと共に、これからも同窓生の皆様方の絆をより一層深め、理学部同窓会の存在価値を高めるべく活動して参る所存でございますので、ご指導とご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平成28年3月吉日

熊本大学大学院自然科学研究科
理学専攻化学講座教授
西野 宏
化学科第27回（昭和54年卒）

教室だより

数 学 教 室

寒さも次第に弱まり、春の到来を感じる季節となりました。数学教室同窓会の皆様いかがお過ごしでしょうか。同窓生の皆様に数学教室の近況についてお知らせします。

初めに先生方の御異動について報告致します。今年度10月より加藤文元（かとうふみはる）先生が東京工業大学へ異動されました。来年度4月より岡山大学から山田祐史（やまだひろふみ）先生が赴任されます。先生の赴任により、数学教室が今後ますます活性化されることと思います。

本年度の数学教室の在籍人数は、3年生37名、4年生35名、博士前期課程1年生11名、博士前期課程2年生9名、博士後期課程3名です。卒業・修了後の進路は、教員をはじめ公務員、一般企業、大学院博士前期課程、博士後期課程への進学など様々です。3年生は理学部3・4号館にある学修室を積極的に利用し、数学と向き合い、仲間と議論し、勉学に励んでいます。4年生も夜遅くまで大学に残り、毎週のセミナーの準備をしたり、資格取得を目標とした自主ゼミを開いたり、数学

に加え、自身の進路実現のために日々精進しています。また、大学院生は先生方の御指導のもと、より専門的な数学を学び、仲間と切磋琢磨し日々研究に打ち込んでいます。このように数学に真摯に向き合った結果、4年生は卒業論文を書き上げ、卒業論文発表会で講演しました。また、修士論文においてもそれぞれが興味深い研究成果を発表されていました。今年度も数学教室の恒例行事となりつつある、数学教室の教員・学生間の交流を深めるための、学生が主体となった懇親会を開催しました。それだけでなく、ソフトボール大会などの大学行事にも数学教室一丸となって参加し、学年をこえた交流が数学教室の特色となっています。

同窓会の皆様には今後とも数学教室、また理学部の更なる発展のためご指導、ご助言など頂ければ幸いです。最後になりますが、同窓生の皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

自然科学研究科博士前期課程1年 大津 光司

物 理 教 室

春光うらかな季節を迎え、物理科学講座同窓会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。同窓生の皆様に物理科学講座の近況をお知らせ致します。

今年度、物理科学講座は新たに3年生29名を迎え、4年生49名、博士前期課程33名、博士後期課程7名が在籍しています（H27.4.1）。来年度は博士前期課程に22名、博士後期課程に1名の入学

が予定されています。

平成27年11月、外部の研究者を招いた国際シンポジウム ISAMMDoF-2015 が開催され、本講座の学生たちも精力的に発表しました。平成28年2月には卒業研究発表会、修士論文発表会がありました。多くの4年生にとっては初めての研究発表、緊張が見られたものの、各々立派に自身の研

究成果を発表しました。また、平成27年10月には林忠四郎記念講演会が催され、林先生の教育熱心なエピソードに皆、感銘を受けていました。

研究活動以外では平成27年4月に3年生の歓迎会が行われました。歓迎会では研究に胸を躍らせ、先生方と熱く語り合う学生の姿が見受けられました。8月にはオープン・キャンパスがあり、多くの高校生たちが本講座を訪れました。11月には地域の方々との交流として「夢科学探検」が催されました。多くの研究室が出展し、子供たちに

喜んでもらうための工夫を凝らしていました。

今年はラグビー・ワールドカップ日本代表の快挙に世界が沸きました。彼らのように物理科学講座も前へ前へと努力して参ります。今後とも同窓会の皆様には御指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。末筆ながら、同窓会の皆様の益々の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

自然科学研究科博士前期課程2年 平野 詠大

化 学 教 室

寒さもようやく衰えはじめ、日増しに過ごしやすい季節となりましたが、熊本大学理学部化学科、物質化学科、環境理学科の同窓生の方々をはじめ、理学部同窓生の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。同窓会の皆様に理学部化学教室の近況についてご報告申し上げます。

初めに先生方の御異動について報告いたします。まず、平成28年3月をもちまして、市村賢司教授がご定年を迎えられます。市村先生は昭和62年7月から28年間の長期に渡り理学部で化学、特に物理化学の分野で教育と研究に、また大学運営に精励されてこられました。本当にお疲れさまでした。平成27年4月には北海道大学より荒江祥永（あらえさちえ）先生が助教として赴任されました。荒江先生は熊本大学が平成22年度に採択された文部科学省科学技術振興調整費女性研究者養成システム改革加速プログラム「バッファリングによる女性研究者養成の加速」により採用されました。先生のご専門は有機金属化学で、赴任後は有機金属触媒の合成と反応について研究されています。先生は学生と真摯に向き合い、研究に対す

る相談なども積極的に行われ、学生からの信頼と人望を集めております。その傍らツーリングやスキーなどのアウトドアスポーツを趣味とされており、公私共にとても活動的な先生であります。また、平成28年2月には船津麻美（ふなつあさみ）先生が北九州工業高等専門学校より助教として、荒江先生と同じプログラムで採用されました。船津先生のご専門は無機材料化学です。新進気鋭の女性教員二名が新たに加わり、化学教室は一段と若返り、活気に満ちた教育研究環境になることと思います。

続いて学生の状況について報告いたします。現在化学教室は新たに学部3年生38名を迎え、4年生60名、大学院博士前期課程60名、博士後期課程14名が在籍しています。平成27年4月には学部3年生と大学院1年生の歓迎会を開催し、10月にはソフトボール大会とバーベキューパーティーを実施しました。これらの行事には先生方もご参加いただき、多くの学生が集い、研究室の枠を超えて化学教室全体の親睦をより一層深められました。平成28年2月12日には大学院博士前期課程2年生

23名による修士論文研究発表会が、一週間後の2月19日には学部4年生51名による卒業研究発表会が行われました。発表者一人一人が並々ならぬ熱意と努力をもって積み重ねてきた研究の成果を決められた時間内に発表し、先生方や学生との間で熱い議論が交わされました。今後、私共卒業生は就職や進学と、それぞれの道に旅立って行きますが、これまで理学部で学んできた経験や知識を生

かし、これからも日々精進していく所存です。

今後とも同窓会の皆様には理学部の更なる発展のため、ご指導並びにご助言を頂ければ幸いです。最後になりますが、皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念申し上げます。

理学科化学コース4年 近松 郁香



市村先生 左 退職祝賀会 右 最終講義にて

地球環境科学教室

春寒次第に緩み一雨ごとに暖かさがまして、沈丁花がほのかに香るこの頃、桃の節句も過ぎ、すっかり春めいてまいりました。熊本大学理学部地学科・地球科学科・理学科地球環境プログラム同窓生の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。同窓生の皆様に、地球環境科学講座の近況をお知らせ致します。

まず悲しいご報告があります。平成12年10月に東北大学へ転出された尾田太良先生が去年10月に死去されました。突然の悲報に教室一同ショックを受けました。ご葬儀には尾田太良先生を慕っておられた多くの卒業生が参列し、別れを惜しみました。

次に講座教員についてご報告します。17年間熊本大学で教鞭をとってこられた嶋田純先生（同位

体水文学）が平成28年3月を以て定年退職されます。嶋田先生は、熊本での地下水研究の発展にご尽力されました。

続いては、学生の近況について報告致します。本年度は3年生28名、4年生16名、大学院生は留学生・社会人を含めて修士課程21名、博士課程16名が在籍しております。11月のハンマー祭では、研究室の枠を超えて先生方と学生の親睦を深めることができました。そして、2月9日、10日には4年生16名による卒業論文発表会、博士前期課程2年生11名による修士論文発表会が行われました。これまでの研究の成果が発表され、専門を問わず多くの先生方と学生との白熱した議論が展開されました。今後、進学や就職などそれぞれ進路は異なりますが、これまでに学んだ知識や経験を

生かし、それぞれの分野での活躍を予感させる発表会となりました。

同窓生の皆様には、引き続き地球環境科学科の更なる発展のためにご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り致します。

自然科学研究科博士前期課程2年 楠 遼介



生 物 教 室

桜の花も美しく咲きはじめ、うらかな好季節を迎えるころとなりました。生物教室同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。同窓会の皆様に生物教室の近況についてご報告申し上げます。

まず学生の状況について報告いたします。本年度の生物教室では3年生59名を迎え、また博士前期課程1年生18人が入学し、新たな仲間の加わり喜びを感じております。そして、4年生53名および博士前期課程2年36名が新たな学年としてスタートいたしました。

生物教室では本年度も4月には3年生の歓迎会、6月にはソフトバレー大会、10月にはソフトボール大会などのイベントを開催いたしました。多くの先生方や学生が参加してくださり、学年や研究室の枠を越えて生物教室全体の親睦をより一層深めております。また、11月の大学祭では子供から大人まで幅広い世代の方々を対象とした工作や実験ができる体験型イベント「夢科学探究」に出展した研究室もあります。多数の方々を訪れ、生物学並びに生命科学への関心を引き、地域との親睦も深めました。そして12月には3年生は研究

室配属が決定いたしました。各研究室で上級生もさらに一生懸命に研究に取り組み、2月12、13日は4年生の卒業論文発表会、2月18、19日は博士前期課程2年生の修士論文発表会が行われました。これまでに熱意と努力をもって取り組んだ専門分野での研究成果が発揮されるものです。参加した教員や学生が相互に活発な質疑応答を行い、終止熱気に満ちた発表会となりました。

この1年間を通して、生物学や生命科学に関する成果も数多く報告され、本分野の重要性もますます増したと感じております。今後は、進学や就職とそれぞれの道に進んでいきますが、学んだ経験や知識を生かし、これからも日々精進していく所存です。今度とも同窓会の皆様には引き続き理学部の更なる発展のためにご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健勝とますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

理学部理学科生物コース4年 島岡 知恵

平成26年度 会計報告

平成26年6月～平成27年5月

【平成25年度繰越】 ￥16,979,248

【平成27年度繰越】 ￥17,536,999

【収入】

会費納入	￥2,093,000
寄付	￥30,000
預貯金利子	￥31
小計	￥2,123,031

●●● 寄 付 ●●●

熊本大学理学部同窓会へ寄付を賜りました。

平成26年11月 出口俊雄 様

(第1回昭和28年卒、
化学講座教授、S.44～H.8)

平成27年8月 黒澤和 様(平成27年度計)

(化学講座教授、S.42～H.14)

熊本大学理学部同窓会では、理学部の発展に資する諸事業をはじめ、会報の発行、学内行事や環境整備への後援、卒業生・修了生の相互の連絡や親睦、さらに就職支援などを行っております。主旨にご賛同いただきます皆様のご寄付を広く受け付けております。

◆寄付金入金口座◆

ゆうちょ銀行 一九九支店

当座 口座番号：01990-8-4833

口座名義：

熊本大学理学部同窓会



平成27年度 理学部卒業式 (平成28年3月25日)

【支出】

平成26年度学部協力金	￥300,000
平成26年度同窓会報発行	￥947,382
熊本大学同窓会連合会会費	￥60,000
卒業生表彰お祝い金	￥60,000
同窓会長活動費	￥154,490
文具・作業謝礼	￥7,299
振込手数料・払込書印字代	￥36,109
小計	￥1,565,280

あ と が き

まずはじめに、2016年4月14日、16日に発生しました平成28年熊本地震により、熊本・大分地域の地震災害の犠牲者の方々に心から哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りすると同時に、被災された卒業生の皆さまにおかれましては、一日も早く平穏な日常生活を取り戻されることをお祈りいたします。また地震に伴い、平成27年度の理学部同窓会報の発送が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

平成27年度の理学部同窓会の活動については、西野 宏理学部同窓会長より、詳しくご報告がされておりますが、嬉しいお知らせとしては、紙谷正夫熊本大学名誉教授が、平成27年度熊本大学卒業生表彰を受賞されました。卒業生表彰制度は、熊本大学の発展や社会的評価を高めることに顕著な業績のあった卒業生を同窓会長が推薦し、ホームカミングデーにおいて学長が表彰する制度です。毎年9月に各同窓会長が、学長に候補者を推薦いたしますので、ふさわしい方がお近くにいらっしゃる場合には早めにお知らせくださると幸いです。

理学部同窓会における活動に加え、平成27年度には、5月30日(土)に第6回関東連合同窓会(東京)が、10月3日(土)に第2回九州連合同窓会(福岡)が開催され、数多くの同窓生の方々にご参集いただき、盛会であったこととお慶び申し上げます。平成28年度には、7月16日(土)に第3回九州連合同窓会(熊本)が、12月3日(土)に第5回関西連合同窓会(大阪)が開催されます。多くの会員の皆様にご出席いただければと思います。よろしく願いいたします。また平成28年度のホームカミングデーは、11月12日(土)に開催されます。案内状は、熊本大学卒業の一部の卒業生の方には送られませんが、卒業生はどなたでも参加できます。詳細な日程ならびに問合せは、熊本大学ホームページ>同窓会をご覧ください。

何かと不行届の点多々あるかと思いますが、会員の皆様のお役に立てるよう努力いたします。何卒、よろしく願いいたします。

会計担当 長谷義隆・大平慎一、庶務担当 松田博貴